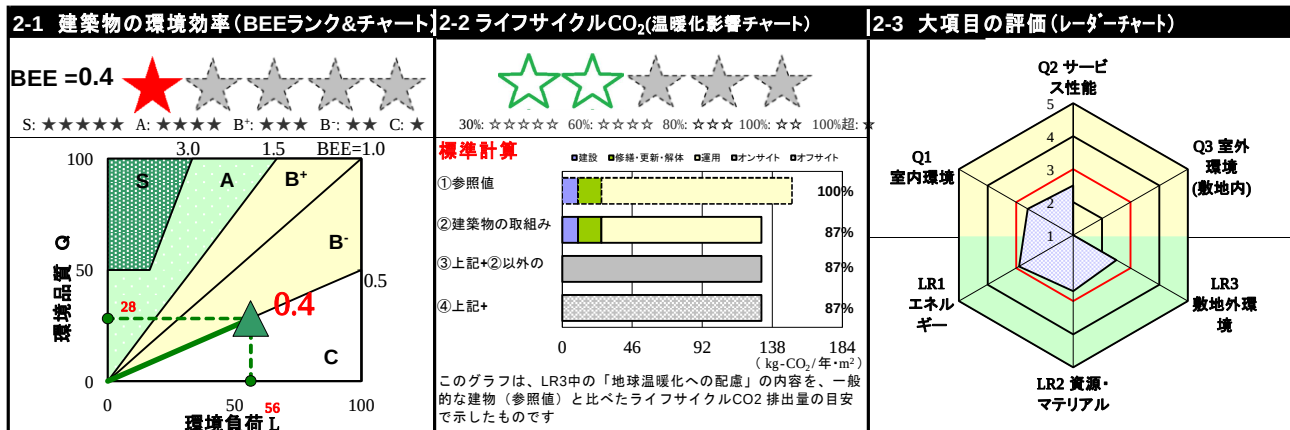


CASBEE®-建築(新築)

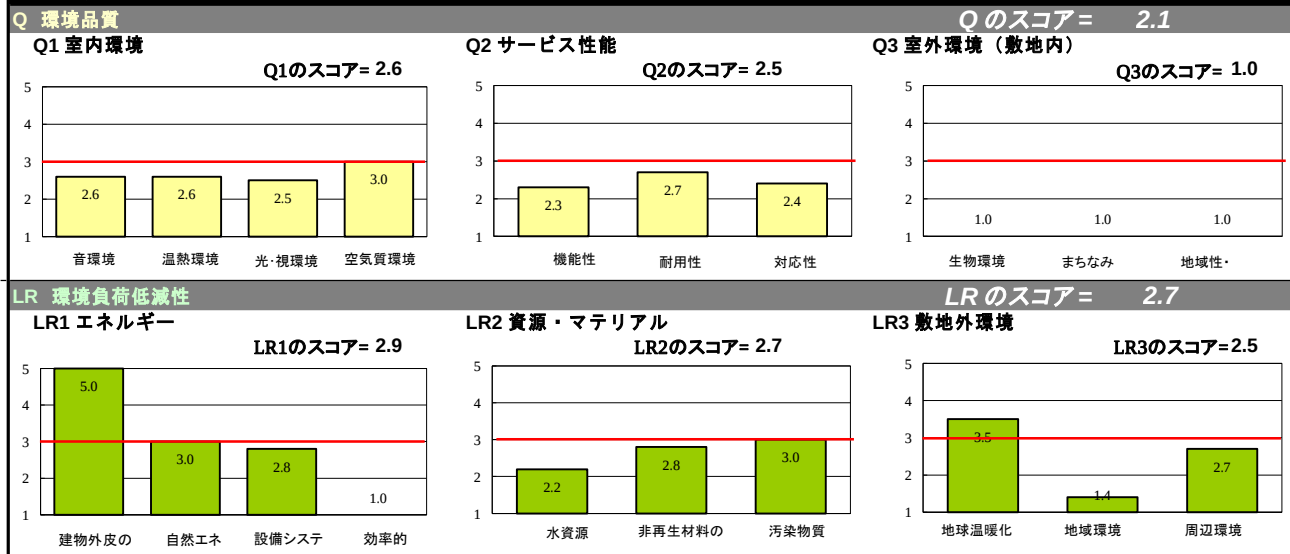
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市堤町老人ホーム新築	階数	地上3F
建設地	大阪府高槻市堤町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年9月9日
敷地面積	1,872 m ²	作成者	伊藤真理子
建築面積	885 m ²	確認日	2025年9月13日
延床面積	2,522 m ²	確認者	岡田厚志



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物の高さを低く抑え、周辺の住宅環境への影響を最小限となるよう建物を計画した。	
Q1 室内環境 遮音及び断熱のための材料を選択し、室内環境への負荷が少なくなるように配慮した。	Q2 サービス性能 段差の無い計画となるよう配慮して設計した。 また、取替が容易にできる機器・方式を採用し、維持管理が容易になるよう配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地帯を設置し、景観への配慮と敷地内の熱環境の向上を考慮した。	
LR1 エネルギー 窓・外壁・屋根裏には断熱性を考慮した部材を選択した。	LR2 資源・マテリアル 近隣地域の生産品を積極的に採用し、また 再品を採用する様努力した。
	LR3 敷地外環境 騒音の音源となるような機器は、敷地の内側へ設置し、外部環境への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)高槻市堤町老人ホーム新築工事						
建設地		大阪府高槻市堤町						
用途／区分		病院 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						C	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						1	
③	断熱性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能						3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					2	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	1.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		